

西アフリカで エボラ出血熱が発生しています！

WHOの情報によると、西アフリカ(ギニア、リベリア、ナイジェリア、シエラレオネ)においてエボラ出血熱が発生し、1,323名の患者が報告され、このうち729名が死亡しました。(2014年7月27日現在)

<患者等の発生状況>

- ギニア
460名(339名)
- リベリア
329名(156名)
- ナイジェリア
1名(1名)
- シエラレオネ
533名(233名)

※括弧内は死亡者数を再掲。



エボラ出血熱 は、ウイルスに感染した動物やヒトに接触することにより感染し、死亡率の高い(25~90%)病気です。

潜伏期間は、2~21日(通常は7日程度)で突然の発熱、疲労感、筋肉痛、頭痛、咽頭(のど)痛で発症します。それらに引き続き、嘔吐、下痢、腎機能や肝機能の低下がみられ、進行すると全身に出血傾向がみられ死亡します。

この病気に対する確立された治療法やワクチンは今のところありません。流行地域に近づかないことが重要です。

感染した人の血液や体液、これらに汚染された可能性のあるもの、動物(死体を含む)に触らないでください。

